

# 新河岸川 広域景観 プロジェクト便

Vol. 1

2008年8月1日発行



7月27日(日)13:00～16:00に和光市中央公民館で「新河岸川広域景観プロジェクト講演会」を開催しました。新河岸川周辺で活動されている団体の方や市民の方、景観や新河岸川に興味のある方がたくさん参加され、会場は満員でした(参加者89名)。

『講演』では、日本工業大学の伊藤庸一教授から「身近にあるただならぬ景観」と題し、どこの土地にも気づいていないすばらしい景観があり、それを掘り起こし、活かして、次の時代へ残していくことの重要性を学びました。

後半の『参加者の活動報告』では、新河岸川周辺で活動されている団体の方の生の声が聞け、大変参考になりました。

また、1階のロビーでは「彩の国景観賞2007」の受賞作品や、新河岸川周辺の景観賞受賞作品のパネル展示、景観に関するリーフレットの配布を行い、多くの方に《景観》に興味を持っていただくきっかけになったと思います。



## 新河岸川広域景観プロジェクトとは...

昭和のはじめまで約300年間舟運で栄えた歴史ある新河岸川をモデルとしたプロジェクトにより多くの県民のみなさまが《景観》について関心を持ち、県民やNPOのみなさま、企業等と市、県が一体となり行動することで、埼玉の美しい景観を先導することを目的とします。



埼玉県のマスコット  
コバトン

美しい景観は、私たちが快適で心地よい生活をし、埼玉の良さを再認識し、誇りと愛着を生むきっかけとなります。

私たちの日々の暮らしに《景観》の視点を取り入れ、身のまわりの景観に関心を持ち、良い景観はみんなで守り、悪い景観はみんなで直していくなど、できることから時間をかけて美しい景観をつくっていきます。

## 『身近にあるただならぬ景観』

日本工業大学工学部建築学科教授  
伊藤 庸一 氏



**景観**とは、暮らしの場を構成する形の集合であり、そこに住み続けてきた先人たちが、今の私たちに残した記憶でもある。その土地ごとの環境、その時代の知恵を積み重ねた形こそが《ただならぬ景観》であり、どの土地にも、《ただならぬ景観》は存在するのである。しかし、暮らしの変化、発展の中で、見過ごしたり、忘れたり、見慣れたりするため、身近には《ただならぬ景観》なんて無いと思ってしまう。

**住民**の活動や行政の取り組み、専門家の評価で《ただならぬ景観》を際立たせ、再認識し、価値を高め、活用し、時代を見極めた新たな景観の創造を加えていくことが重要である。そして、それが《ただならぬ景観》であることを、次の時代に伝承することが我々の責務である。

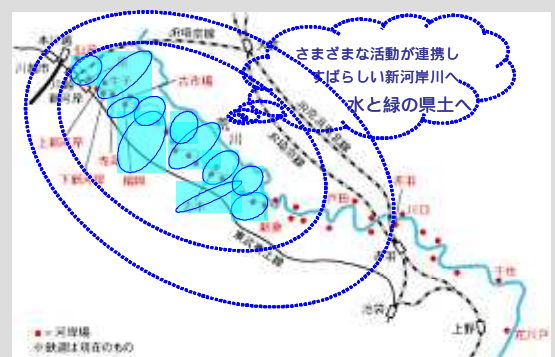
**新**河岸川の周辺には、志木市役所の前の道路の壁面にある昔の河岸の図柄のタイル、富士見の昔の様子をしのんで描かれた絵、舟運で栄えた土蔵、舟運の再現など、それぞれの場所に昔の記憶が再現されて、活動が展開されている。今は点在している活動が連携し、新河岸川の《景観》を《ただならぬ景観》として残して行く展開を期待したい。

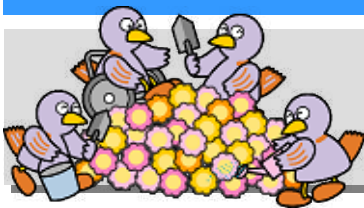


志木河岸



新河岸川各地で親水運動が展開！！





## 『参加者の活動報告』



新河岸川周辺において活動されている団体の活動について各団体5分程度で発表していただき、とても興味深く聞きました。

### NPO法人和光・緑と湧き水の会

(高橋絹世氏)



和光市内  
湧水・緑地保全  
自然観察会

### 新河岸川水系水環境連絡会

(菅谷輝美氏)



新河岸川流域  
川まつり  
水質、魚類調査

### あいがも会

(新里正氏)



志木市役所付近  
あいがもの放鳥  
コスモス植え

### NPOゆめつるせ

(西山弘泰氏)



びん沼川付近  
清掃活動  
農業体験

### 和光自然環境を守る会

(須貝郁子氏)



越戸川付近  
浄化活動  
自然教育

### 和光まちづくりNPOセンター

(友國洋氏)



和光市内  
まちづくり勉強会

### わくわく新河岸川みどりの会

(山本長志郎氏)



新河岸川と黒目川  
合流地の整備

### NPO法人エコシティ志木

+ (財)埼玉県生態系保護協会

志木支部

(天田眞氏)

柳瀬川付近  
清掃活動



### 新河岸商栄会

(内田富雄氏)



新河岸川駅付近  
新河岸川の集い  
(舟運の再現)

凡例

団体名

写真

(氏名)  
活動場所  
活動内容



## アンケート結果



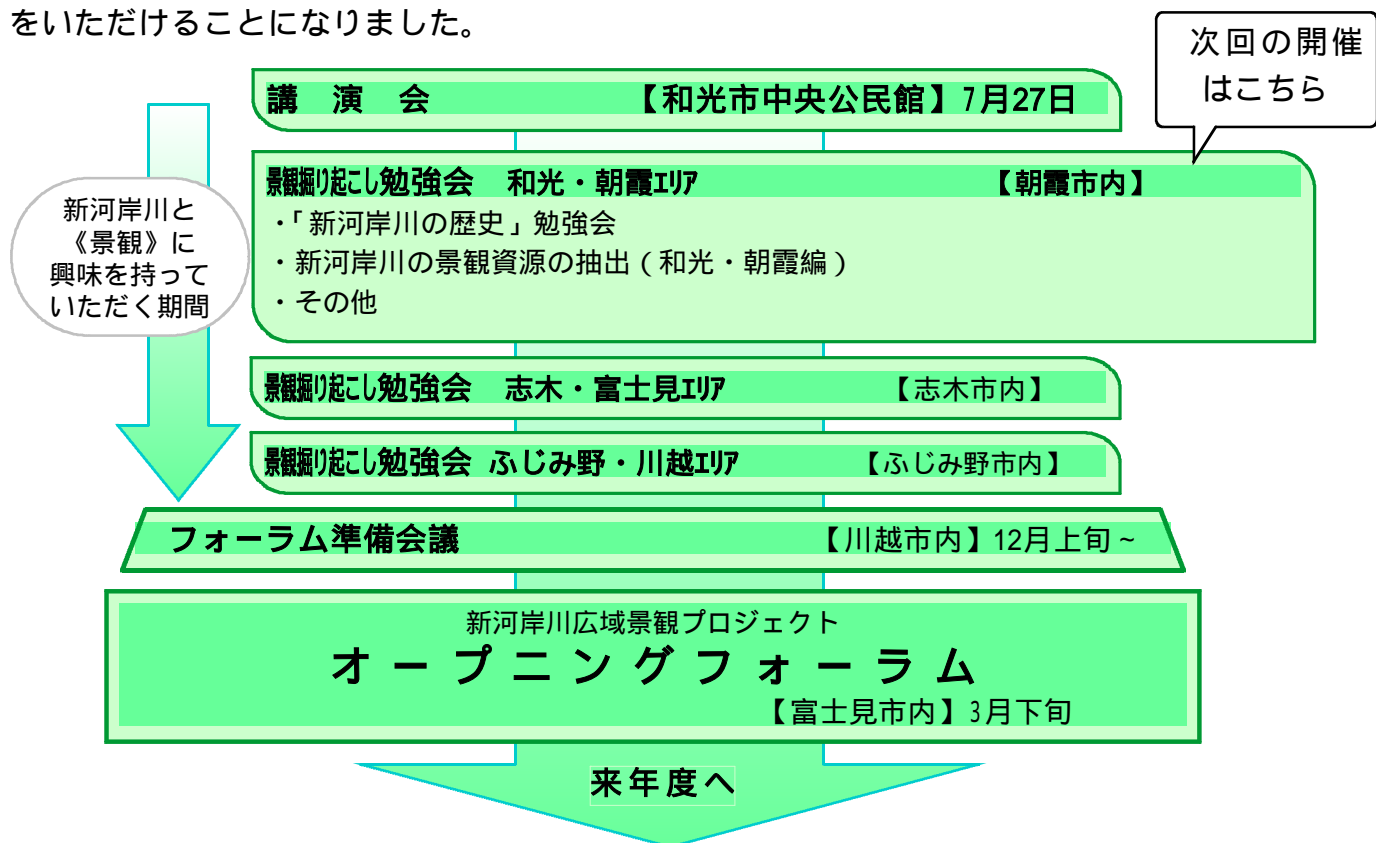
講演会に参加された方にアンケートをお願いし、43名の方に回答いただきました。

本日の講演について		今後の参加について	
とてもわかりやすかった	22	是非参加したい	8
わかりやすかった	15	都合が合えば参加したい	31
むずかしかった	0	参加したくない	2
その他	2	その他	0
無記入	4	無記入	2

《自由意見》・景観が地域の固有の文化であると勉強になった・新河岸川の話を知りたい など

## 平成20年度スケジュール

次回からのワークショップの企画にご参加いただける方を募集したところ、17名の方にご協力をいただけることになりました。



ご意見  
お待ちしております

埼玉県 県土整備部

県土づくり企画室

景観・まちづくり推進担当

電話 048-830-5367（直通）

FAX 048-830-4822

Email a5360-08@pref.saitama.lg.jp